

# 経営比較分析表

東京都 あきる野市

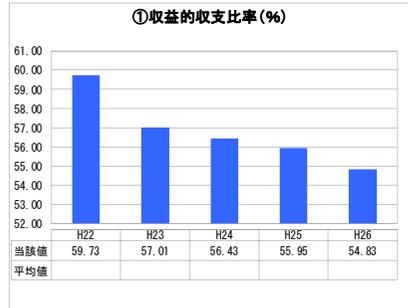
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bc2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	93.59	90.64	1,921

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
81,697	73.47	1,111.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
76,389	12.54	6,091.63

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

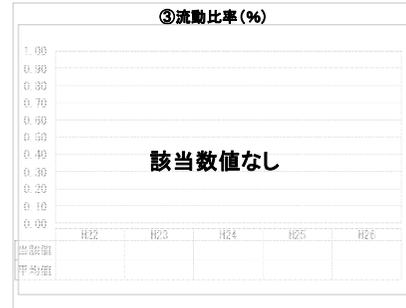
## 1. 経営の健全性・効率性



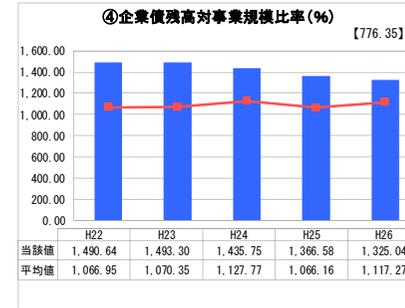
「単年度の収支」



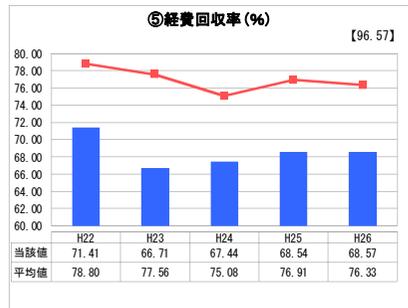
「累積欠損」



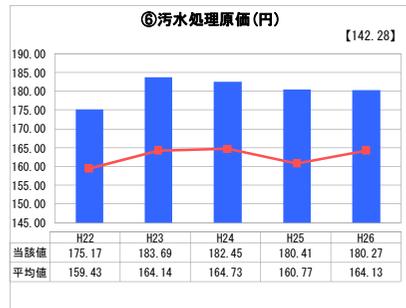
「支払能力」



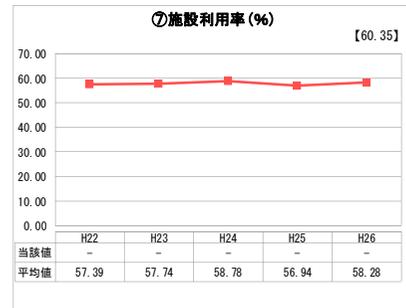
「債務残高」



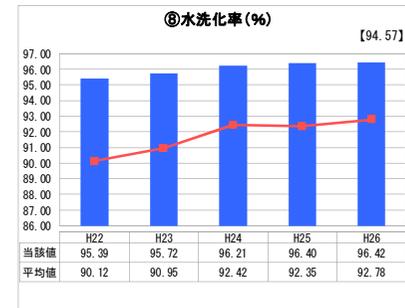
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

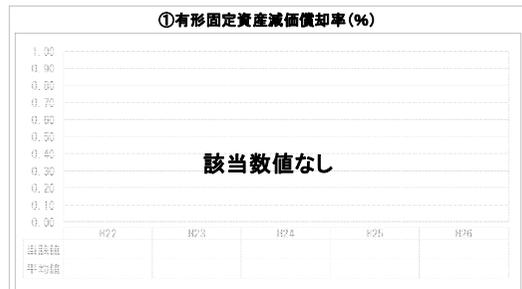


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

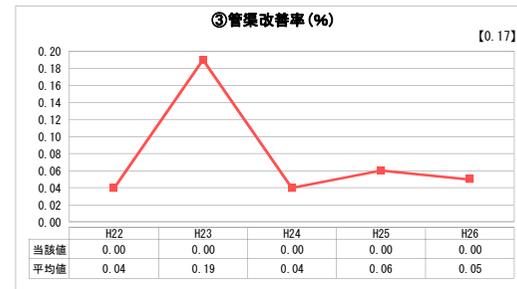
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

あきる野市は、平成14年度より市街化調整区域の整備に入り、人口密集地区外の整備を進めており、この要因に起因して収益的収支比率が低下しており、同様の理由から企業債残高対事業規模比率は高比率です。

なお、公共下水道に対する認知度が高いため、水洗化率は微弱ですが増加傾向にあります。

### 2. 老朽化の状況について

あきる野市の供用開始は平成4年度からであり、下水道施設については比較的新しく老朽化対策等はこれらであるため、管渠改善率が低いといえます。

## 全体総括

あきる野市は、人口密集地区外の市街化調整区域の整備を進めていることから、経営の健全性・効率性を改善するため、市全体の整備計画の見直しを進めており、今後は一層の経営改善や投資計画の見直しを進めて計画的な事業の進捗を図る必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。